2)宇佐市安心院におけるグリーン・ツーリズム体験

実施日:9月29日(月)11:00-16:00

場 所:大分県宇佐市安心院

協力:NPO安心院グリーンツーリズム研究会

参加者数:海外の旅行会社関係者(バイヤー)22名 海外メディア関係者2名

9:00	福岡出発		
11:00	バス到着	交流研修センター	
11:10-12:30	安心院グリーンツーリズム研究会によるプレゼンテーシ		
	ョン(宮田会長)	交流研修センター	
13:00-16:00	それぞれの農家民宿にて農村での暮らしぶりを体験(詳	安心院町の農家民宿	
	細は40ページを参照)	(全6軒)	
16:30	バス出発	交流研修センター	

















(農家民宿での体験 6コース)

7 7	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	2-10-2
コース	体験内容	参加者
	① 湧水郷こごみの里」 江藤千代子さん宅	
A コース	昼食メニュー:鶏天・だんご汁・きのこ料理 等	カナダ 3人
	体験(晴天):稲刈り・芋ほり	ロシア2人
	② 百年乃家ときえだ」時枝仁子さん宅	
B コース	昼食メニュー:鶏飯・カラアゲ・だんご汁 等	タイ 3人
	 体験(晴天):いも餅作り	
	③ 桃源郷こびら」江藤憲子さん宅	ニュージーランド 1人
Cコーズ	昼食メニュー:カラアゲ・天ぷら・野菜の煮物 等	ベトナム 2人
	体験(晴天):流しそうめん、里山散策	フィリピン 1人
		インドネシア 1人
	④ 珠ちゃんの縁側」斉藤珠香さん宅	
Dコース	昼食メニュー:いなりずし・そば・茶碗蒸し 等	マレーシア 4人
	体験(晴天):そば打ち 等	
	⑤ 古里ガーデン森山」 森山照子さん宅	
Eコース	昼食メニュー:野菜炒め・グラタン・サラダ 等	韓国 2人
	 体験(晴天):そば打ち等	
	⑥ 寒水のしんや」江藤光子さん宅	
Fコース	昼食メニュー:手巻き寿司・だんご汁・天ぷら 等	中国 5人
	 体験(晴天):野菜収穫・種まき	

3)海外の旅行会社関係者(バイヤー)等へのアンケート結果

※本アンケート(英語表記)では用語に「グリーン・ツーリズム」の代わりに「ルーラル・ツーリズム」という用語 を用いた

【調査の概要】

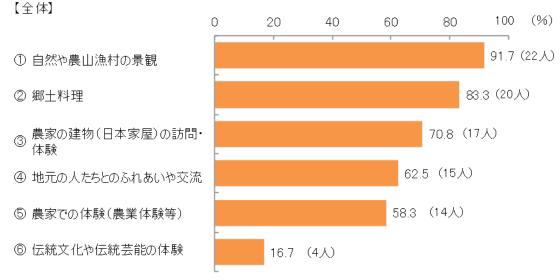
- ・平成26年9月29日に実施した大分県安心院町へのファムトリップ参加者に実施した調査
- ・参加者はいずれも海外の旅行業者及びメディア関係者(24人)。その国籍は以下の通り。 (東アジア: 計7人) 中国5人、韓国2人 (東南アジア: 11人) マレーシア4人、タイ3人、ベトナム2人、インドネシア1人、フィリピン1人

1. 安心院へのファムトリップで魅力に感じたことや印象に残ったこと(複数回答)

(欧米オセアニア:6人) カナダ3人、ロシア2人、ニュージーランド1人

安心院へのファムトリップで魅力に感じたことや印象に残ったことのトップは「自然や農山漁村の景観」で次いで「郷土料理」「農家の建物の訪問・体験」と続く。「農家での体験(農業体験等)」はやや評価が低い。

地域別では東アジアが「農家の建物体験」よりも「農家での体験」が上位となった。



順位	東アジア(中・韓) (7 人)		東南アジア(11人)		欧米オセアニア(6人)	
1位	自然や農山漁村の景観	7	自然や農山漁村の景観	! 9 !	自然や農山漁村の景観	6
2位	農家での体験(農業体験)	7	農家建物の訪問・体験	8	農家建物の訪問・体験	[6
3位	郷土料理	6	郷土料理	1 1 8 1	郷土料理	6
4位	人々とのふれあいや交流	6	人々とのふれあいや交流	7	農家での体験(農業体験)	5
5位	農家建物の訪問・体験	3	伝統文化や芸能の体験	3	人々とのふれあいや交流	2
6位	_	-	農家での体験(農業体験)	2	伝統文化や芸能の体験	1

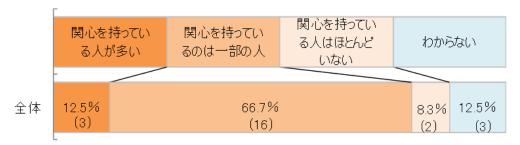
◆安心院の体験で最も興味深かったこと(自由回答)

- 日本の家を訪ねたこと(6)
- ・美しい自然や農村風景(5)
- ・おいしくて興味深い食べもの(5)
- ・共同で行った稲刈り体験 (4)
- ・地元の人たちの温かい心(3)
- ・都市とはちがう伝統的な体験(2)
- ・地域の伝統的なライフスタイル(2)
- ・地元の人たちとのふれあい(2)
- ・段々畑
- 滝
- ・地元の人と一緒に行った料理(そば、まんじゅうなど)作り(3)
- 2. 母国における日本のルーラル・ツーリズムへの関心について

各バイヤーに母国において日本のルーラル・ツーリズムに関心を持つ人について聞いてみると、3分の2が「関心を持っているのは一部の人」と答え、「関心を持っている人が多い」は3人にとどまった。

地域別では東アジアや東南アジアで「関心を持つ人がいる」という答えが多い。

【全体】



【地域別】

地域	関心を持ってい る人が多い	関心を持ってい るのは 一部の人	関心を持ってい る人はほとんど いない	わからない
東アジア (中・韓) (7人)	2人	5人	1	-
東南アジア(11人)	1人	9人	1人	-
欧米オセアニア(6人)	-	2人	1人	3人

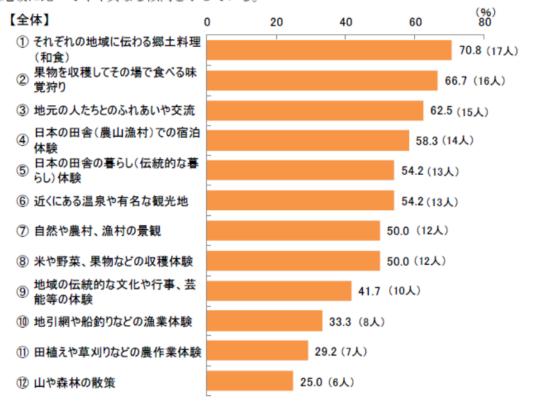
◆日本のルーラル・ツーリズムに関心を持つ人たちは?(自由回答)

- 自然が好きな人(5)
- ・日本に来たことのある人(リピーター)(3)
- ・お金持ち(富裕層) (3)
- ・農家や農業大学生(2)
- ・公務員
- ・若者(ティーン・エージャー)
- ・富裕層は来ない(タイのバイヤーが回答)
- ·学生(大学生) (5)
- ファミリー(家族旅行)(3)
- •FIT (2)
- ・少人数のグループ旅行者(2)
- •中高年層
- ・日本が好きな人
- ・大人

3. 日本のルーラル・ツーリズムを商品化する際のセールスポイント(複数回答)

日本のルーラル・ツーリズムを商品化する場合のセールスポイントについては、「郷 土料理(和食)」「味覚狩り」「地元の人たちとの交流」「田舎での宿泊体験」など が上位を占めた。「食」や「田舎体験(暮らしや宿泊)」など、比較的わかりやすい キーワードが商品化の際のポイントと考えているようだ。

地域別では東アジアが「温泉や観光地」がトップで、「食」関係が下位になるなど、 他地域に比べてやや異なる傾向を示している。



【地域別】

※数値は回答者数(人)

	東アジア(中・韓)(7人)		東南アジア(11人)		欧米オセアニア(6人)	
1位	近くにある温泉や有名な 観光地	5	それぞれの地域に伝わる 郷土料理(和食)	10	6果物を収穫してその場 で食べる味覚狩り	
2位	自然や農村、漁村の景観	4	地元の人たちとのふれあ いや交流	9	7それぞれの地域に伝 わる郷土料理(和食)	5
3位	日本の田舎(農山漁村)で の宿泊体験		果物を収穫してその場で 食べる味覚狩り	8	12近くにある温泉や有 名な観光地	
4位	・米や野菜、果物などの 収穫体験 ・果物を収穫してその場 で食べる味覚狩り ・地元の人たちとのふれ あいや交流 ・日本の田舎の暮らし(伝 統的な暮らし)体験 ・地域の伝統的な文化や 行事、芸能等の体験		日本の田舎の暮らし(伝 統的な暮らし)体験	7	地引網や船釣りなどの 漁業体験)	4
5位		で食べる味覚狩り 日本の田舎(農山漁村)	米や野菜、果物などの 収穫体験			
6位			自然や農村、漁村の景観	 	・自然や農村、漁村の景観・山や森林の散策	
5位			米や野菜、果物などの収 穫体験	マ 5 ・地元の人 いや交流	・地元の人たちとのふれあいや交流 ・日本の田舎の暮らし(伝統	3
6位			地域の伝統的な文化 や行事、芸能等の体験	4	的な暮らし)体験 ・地域の伝統的な文化や行 事、芸能等の体験 ・日本の田舎(農山漁村)で の宿泊体験	